



**「暑中お見舞い申し上げます」**

東伊豆町議会議員

須佐まもる

<総務経済常任委員会>

**イソブキ便り! 号外!** 令和4年8月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18

Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

バックナンバーはホームページで! [http://www.knossos.jp/giin\\_mamoru/face1.htm](http://www.knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm)

清水町立幼稚園へ、園庭の芝生化の取り組みを視察に行きました。



最新の情報は  
こちらから



## 6月定例会の補正予算 1億7千5百万円を議決 うち1億を地方創生臨時交付金から支出

早いもので8月に差し掛かりました。この半年を振り返ると、長引くコロナウイルスの感染拡大によりほぼ前半の観光イベントが自粛され、観光業を中心に大きな影響が出ました。ゴールデンウィークを境に回復してきたものの、ロシアのウクライナ侵攻による燃料・食糧危機、円安が進んだことによる物価高が深刻化し、町内経済にもその影を落とし始めています。そういった状況も踏まえまして、今定例会には臨時交付金による支援策が補正予算に盛り込まれています。

### **プレミアム率33%の商品券の発行と“泊まってみたいキャンペーン”の第3弾!**

観光産業課の関係ではプレミアム商品券発行事業に2,230万。こちらはプレミアム率33%の商品券を発行します。1冊3,000円で商品券を購入し、4,000円分使える計算になり一人5冊まで購入できます。誘客対策事業として2,388万。こちらはネット予約キャンペーンに充てられます。さらに大きなところでいうと“泊まってみたいキャンペーン”の第3弾に2,248万、町内事業所で利用できるクーポン券発行事業に630万措置されました。また、小規模事業者へのデジタル化推進500万、新規事業参入者支援に600万措置されています。

### **高齢者スマートフォン普及促進事業300万措置と改訂版ハザードマップを全戸配布へ**

企画調整課関連では、高齢者スマートフォン普及促進事業300万措置されました。町の情報提供をLINEを通じて行うことになり、オンライン手続きの加速化を図ります。一人3万円を限度に百人を対象としています。防災課関連では、ハザードマップ作成に約650万、これは前回平成27年に作成されたものを県の土砂災害警戒区域の更新に基づき改訂されます。このところの異常気象で災害の規模が大きくなり、急傾斜地周辺に住まわれる方の不安が募っています。安全な非難のために欠かせないものになります。今回は差し替え可能なファイル形式にし、全戸配布されます。

### **教育のデジタル化を進め保育士の処遇改善に努める**

教育関連ではGIGAスクール事業推進のための「ロイロノート」導入とコンテンツ整備のために5,200万、教育のデジタル化に向けた措置です。幼稚園統合に向けた新規送迎バス導入や給食を始めるための整備に810万、野球場のベンチ改修に600万も措置されました。住民福祉課関係では保育士の処遇改善に約200万、低所得の子育て世帯への給付金約600万、住民税非課税世帯への給付に4,000万措置されました。これらの給付金は国からの支出金により賄われます。なお、放課後児童クラブの委託先は、実績を鑑み共立メンテナンスに決定しました。

# 専決処分にて決定！原油高・物価高対応 臨時交付金

6月定例会に続き、原油価格の上昇や物価高騰分に対応した地方創生臨時交付金の当町の事業と振り分けについて、7月7日の全員協議会で説明がありました。事業総額1億あまりに、交付金が8割8,200万を想定して組まれています。これは6月定例会に組まれた額に近いもので、地方自治体にとっては大変ありがたいものです。

## 水道料金を2ヵ月免除！(o^-)`b

今回の目玉！(@\_@)！すべての町水道事業者に対し、経済的な負担軽減を図るため水道料金（基本料金分）の免除を2ヵ月間行います。これは総額2,400万円になり今回の執行額の1/4に当たります。以前から私は臨交金の使い道として、厳しさが増す水道会計へ補てん出来ないかと言ってきました。今回は直接町民の皆様が届く形で現実化したので良かったと思っています。

## 公共交通機関への積極支援(o^-)`b

今回注目されるのは、公共交通機関へ向けた直接支援です。コロナ禍と燃料高騰で厳しさが増す鉄道、バス、タクシーに総額1,627万が充てられ、その路線の長さに応じ伊豆急に1,586万、東海バスに27万、伊豆急東海タクシーに14万に振り分けられます。これは、年末までの実績が分かった時点で交付されます。

この公共交通機関向けの交付金はこの地域で初で、他市町をリードし追随を促すものです。地方鉄道のあり方に国の検討会が提言をしていますが、伊豆半島になくはならないのが伊豆急で、JR伊東線の収支も気になるところです。今後、もっと厳しい場面も予想できますので、沿線自治体がタッグを組んで“しっかり鉄道を守り抜く”という姿勢を見せることが大切だと思います。

## 農漁業者への経営安定化補助金を設置(o^-)`b

物価高騰対策では、農漁業者の経営安定化補助金を設け、施設整備に向けた支援を行います（最大30万、補助率1/2）。6月定例会で一次産業の後継者問題について報告書を提出した身としては、もう少し手厚いものを期待しましたが、今回はこの案で妥協しました。さらに、コロナ禍であったり原油高・原材料価格のあおりを受けた町内事業所には、広くその影響の度合いに応じて最大30万円の支援が受けられます。

## 給食副食費相当分の4,500円を3ヵ月間支給(o^-)`b

また、子育て世代には小中学校に通っている児童の給食費補助名目で、小学生3,930円、中学生4,670円を3ヵ月間支給されます。未就学児に対しても副食費相当分の4,500円を3ヵ月分支給します。これは幼稚園、保育園で若干の算定が違ってきますが、幼稚園、保育園に通っていない子も含めて広く支給されます。育ち盛りのお子さんにたくさん食べてもらいたいですね！



これらを町長の専決（議会の議決を経ないで支出させること）で決めることについて、私は少なからず抵抗感がありました。確かに専決にすれば早く町民へ支援が届くことになり、職員の仕事の進め方も先が見通せます。しかし、十分審議することにより、もっと有効な考えを議会から提案できるかもしれません。このことは今後の課題としていきます。



5月の大雨の際に水かさが増した白田川

建設整備課関連では、周辺住民の関心も高い白田川橋の架け替えの可否を判断するため、計画策定業務委託料が財政措置されました。このことにより工程表が作成され事業計画についての問題点が整理されていきます。私としては引き続き、住民にとって一番良い選択肢を模索していきたいと思いません。

どうなる！？  
白田川！